

平成21(2009)年11月2日

学校だより

に ち り ん



日 輪

本校教育目標

ふれあおう
たの
楽しもう
まな
学びあおう

平成21年度11月号

横浜市立飯田北小学校
校長 巻木 博明

学校の宝

校長 巻木 博明

「学校を開く週間」で行った土曜授業参観には、多くの保護者の皆様のご出席
くださり、誠にありがとうございました。

10月は学校の方でもそれぞれの秋を楽しむことができたので、紹介します。読書の秋に相応しく、泉図書館と青い鳥の皆様によるお話し会を開き、読書に親しむことができました。「お話し方のみんなとても上手なので、気持ちよく話せました。」とお褒めの言葉もいただきました。芸術の秋に相応しく、5年生がみなとみらいホールに行って、「心の教育ふれあいコンサート」でオーケストラの演奏を鑑賞してきました。(9月30日でした)実りの秋に相応しく、5年生が24日(土)に保護者と一緒に学校の田んぼで稲刈りをして、今干しているところです。そして、全学年の皆さんが兄弟学年等で学校農園のサツマイモを収穫して、1年生の顔と同じくらい大きな芋を掘ることができました。大学芋に変身して、給食に登場する予定です。行楽の秋に相応しく、3・4組のみなさんが20日(火)・21日(水)と一泊二日で三浦ふれあいの村に行って、三浦の秋を楽しんできました。インフルエンザの関係で参加できない学校もありましたが、参加した本校の皆さんは大活躍だったとのことです。スポーツの秋に相応しく、6年生が29日(木)に日産スタジアムで行われた市立小学校体育大会に参加してきました。他校・他区の80校(5校はインフルエンザの関係で不参加)約7500名の6年生と一緒に演じたり、跳んだり、走ったりして、秋の一日を満喫できました。この大会に向けての6年1組の皆さんの取り組みには、「励まして高め合う」という点で大きな収穫があったようです。

11月は、3・4年生による区音楽会も予定され、それに向けて取り組んでいるところです。

さて、昨日11月1日は、飯田北小学校の開校記念日で31歳の誕生日でした。学校の宝は、何はさておいても現在本校に在籍している193名の子どもたち一人

ひとりですが、今月号では他校ではあまり見るこのできない物的な宝（宝物）の幾つかを紹介したいと思います。

インフルエンザが猛威を振るっているので、手洗い・うがいの励行とマスク着用等をお願いいたします。

二宮金次郎之像

正門に入って左側の植え込みの所に、二宮金次郎之像があります。この像は、中屋敷にお住いの持田菊雄様より寄贈していただいたものです。二宮金次郎について、次のようなプロフィールが載っていたので、紹介します。

～江戸時代後期の農政家。相模（神奈川県）のまづしい農家に育ち、少年時代から仕事のひまを見つけて勉強した。成長して無税のあれ地を開たくし、大地主となった。そのため、各地の農村の復興をまかされ、これにも成功した。のち、その農業知識、土木技術がみとめられ、幕臣に取り立てられたが、日光の幕府の領地の復興につとめるとちゅう、病死した。（略）「小学館・学習百科事典 学習人物事典」より

抜粋～

校舎壁面のレリーフ

校庭から校舎の壁面を見ると、A棟には帆船、B棟には太陽（日輪）、体育館には天馬のそれぞれのレリーフが施されていることに気付かれることと思います。このレリーフをもとにして、校歌の歌詞ができています。の分かりましたが、数多くあるデザインの中からどうしてこの三種類に決まったのか、当時勤務されていた先生や教育委員会の責任者や設計を担当された方まで聞きましたが、その理由は分かりませんでした。当時は景気が今より良かったために、このようなレリーフを施すこともできたとのことで、その後建設した学校にはあまりないそうです。

人力消防ポンプ

このポンプは昇降口に置いているのですがすぐ気付かれると思いますが、中屋敷自治会から寄贈された物で、次のような説明が付いています。

～大正15年（1926年）東京・神田服部商会製造

このポンプは、はじめ柳明町内会で使っていました。その後、中屋敷自治会が引き継いで、昭和43年（1968年）動力ポンプが入るまでの42年間も使われました。実際に使った人は、「このポンプで何回も火事を消しました。たいへんな力が必要で、つかれてしまい、帰り道はとてまたいへんでした。」と話しています。～

以前勤務されていた先生（現・はまっ子の西郷宏先生）に聞いたら、「1回だけ実際に使ってみたら、1メートル放水できました。壊れるといけないので、1回だけで止めました。」との話です。

外国の衣装と民芸品

B棟3階の視聴覚室隣の部屋に、韓国・中国・カンボジア・ベトナム・ラオス・タイ・フィリピン・ブラジル・ペルー・日本などに関係する衣装や民芸品などが

ところせま しょうのう まいとし ひろば くに し はつ
 所狭しと収納されています。毎年「ふれあい広場～みんなの国を知ろう～」の発
 表会では日の目を見て、子どもたちの活動意欲を喚起し、発表に彩りを添える物
 ばかりです。これだけの枚数・個数は一朝一夕に揃えられるものではなく、帰国さ
 れる保護者や知り合いの方々にお願ひして、これまでに少しずつ少しずつ集めてきた物
 や、中華街やイベント会場などに行き行って買ったり、ゆずり受けたりして集めた物な
 どです。

いちねん かい しょう しょうきかい おお かつどう はば ひろ
 1年に1回だけの使用ではなく、使用機会が多くなるよう活動の幅を広げていると
 ころです。最近では、他校などからも借用の依頼があるので貸し出しています。

ふる みんな のうぐ
古い民具や農具

B棟4階・6年1組の隣り(一番奥)に郷土資料室があります。それまで地域の
 方々からいただいていた物を、開校20周年を機にこの部屋にまとめて整備したと
 のことです。

民具では、石板・れんたんひばち・石うす・せんたく板・火ごて・おひつ・つるべ桶
 ・みのがさなどがあり、昔の生活をしのばせる物ばかりです。農具では、おんぐわ・
 こえおけ・大人車・背負子(しよいこ)・すき・千歯・唐箕(とうみ)・むしろを作
 る道具・桑きり・糸車と糸巻きなど、養蚕に関する物などもあります。民具・農具
 ともに、大正時代から昭和時代の前半に使用していた物が大部分で、社会科の学
 習などで役立てたい物ばかりです。



ねんせい いねか おお ほごしや かつ
 5年生の稲刈り 多くの保護者の方に
 てつだ 手伝っていただきました。



か と いね ほ
 刈り取った稲は、のろんぼうに干されてい
 ます。



いちねんせい ろくねんせい ちから あ いもほ
 1年生と6年生 力を合わせてお芋掘り



こんなにたくさんとれました。